

重し、子どもの利益を優先する立場から、よりよい認定こども園を実現するために慎重かつ積極的に取り組みを進めている。意見要望が付された条件をできるだけ反映することを基本姿勢とし、選定基準、スケジュール等の実施計画書案を策定しているところである。

将来的には全市的に拡充する方向で推進を図っていききたい。

市民環境部長 (2) 既に県と協議を行っており、処分場及び周辺の地形も勘案し、検討しているが、場内の流入場所が低く、工法に苦慮しており、どういう方法でやるのか決まっていらない状況である。

恒久対策として工法や経費等の問題もあるが、今後とも県と課題について早急に協議するとともに、事業者や地元住民の方の協力も得て改善の道筋がつけられるよう努めたい。

市長 6月の雨期も近づいており、早急に対処すべきであると考え。恒久的な対策を練らないといけないという視点から、住民の立場に立って不安がないように市としても考え方を固めて県と協議を行いたい。

(その他の質問事項)
・特別支援教育の概要と本市の取り組みについて。国道34号与崎(本野間の拡幅改良について

**小・中学生の
登下校の安全対策について**

山口議員

教育行政について

遠距離バス通学助成制度の距離基準の変更に伴い、自転車や徒歩で通学する生徒に対する安全対策は万全になされているか。具体的には、冬場の帰宅について、防犯灯の設置がなされているのか、お尋ねします。

平成15年12月議会にて質問しました県道(大村・貝津線)の三浦小学校下、三浦保育園登り口付近の安全対策は万全になされていますか。以前、質問した折、押しボタン式の信号機の設置を要望していましたが、実現の可能性があるのか。また、その他、何らかの対策が講じてもらえるのか、お尋ねします。

市長は、前回の議会の折、子どもたちの安心安全は確保しなければならぬ。また、地域、学校それから家庭、それぞれの協力によって、安全というもを守っていただき、それぞれの取り組みを強化して対応したいと述べておられます。どのように取り組みを強化して対応をされるのか重ねて、お尋ねします。



県道大村・貝津線(三浦小学校下付近)

総務部長 防犯灯は、各地区の実情に応じて、町内会の方から要望があれば、検討して、設置する方向で備えたい。

市長 県道大村貝津線の三浦小学校下付近の道路については、危険であると認識している。押しボタン式信号機の件については、市や学校からも県公安委員会の管轄である大村署に要望し、現場検証等行われた。設置については、危険度の高い交差点等を優先しているとのことであり、相対的に見ると人数が少ないこともあり、納得ができない部分もあるが、現状では信号機の設置は困難であるという回答を得

**市立病院の直営経営を!!
競艇事業の交納付金
について**

田崎議員

市立病院について

市長は、市立病院を公設民営化すると言われているが、そうになると医師を含め病院職員二百数十人を解雇することになり、あまりにも急ぎすぎである。病院職員には動揺が広がっている。病院職員は、ある程度の条件は飲んでほしいと言っているのもつと話し合いをすべきである。

ている。今後も、地域の皆さんや学校とともに関心を持ち要望していききたい。押しボタン式信号機以外については、スクールゾーンの設定や横断歩道等が考えられる。現在、関係機関に働きかけている。何らかの対策を考えていきたい。

子どもたちの安全確保については、重要性は認識しており、スクールガード情報交換会等開催し、関係機関の連携を深め、意見交換や課題等の再確認に努めている。今後は小学校区単位で課題等の解決に向け具体的な安全対策に取組んでいきたい。

(その他の質問事項)
ゆとり教育等について